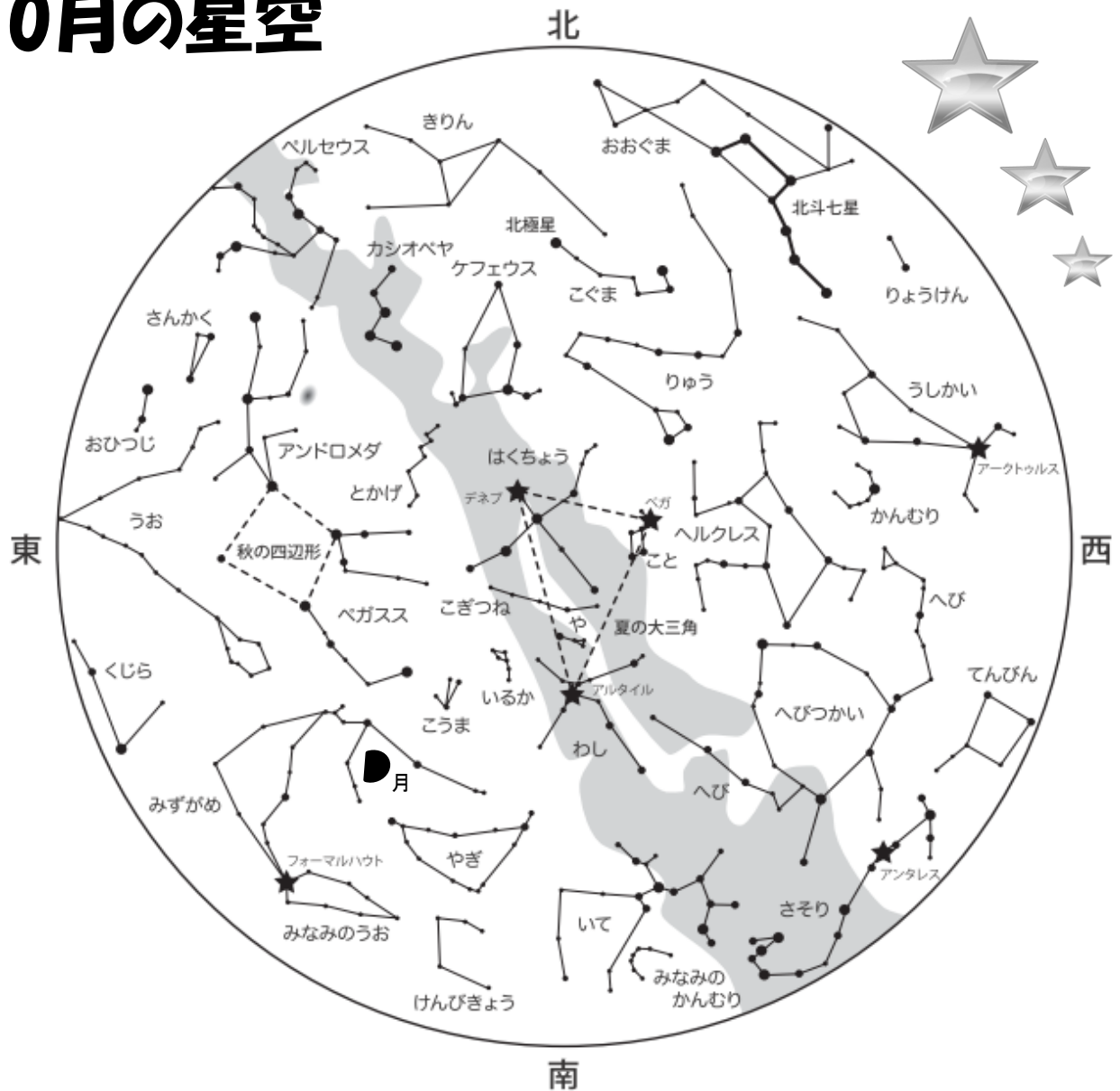


10月の星空



10月下旬の午後7時頃の星空です。月は10月24日の位置を表示しています。
実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見ます。

秋が次第に深まってきましたね。山の行楽地では、紅葉の便りも聞こえてきます。

秋分の日から一ヶ月、日没もずいぶん早くなり、午後6時には黄昏(たそがれ)時になります。

早い夕暮れのおかげで夏の星座もまだ見えていますが、さすがに10月ともなると秋の星座が夜空の主役になってきます。夏のような派手さはありませんが、澄んだ空気の中で見る秋の星達は、また格別です。

また、秋の星座達は壮大な神話物語に彩られていることでも有名です。英雄ペルセウスが、愛するアンドロメダ姫を守るため怪物くじらのティアマトと戦う物語は、出雲神話のヤマタノオロチを彷彿させます。



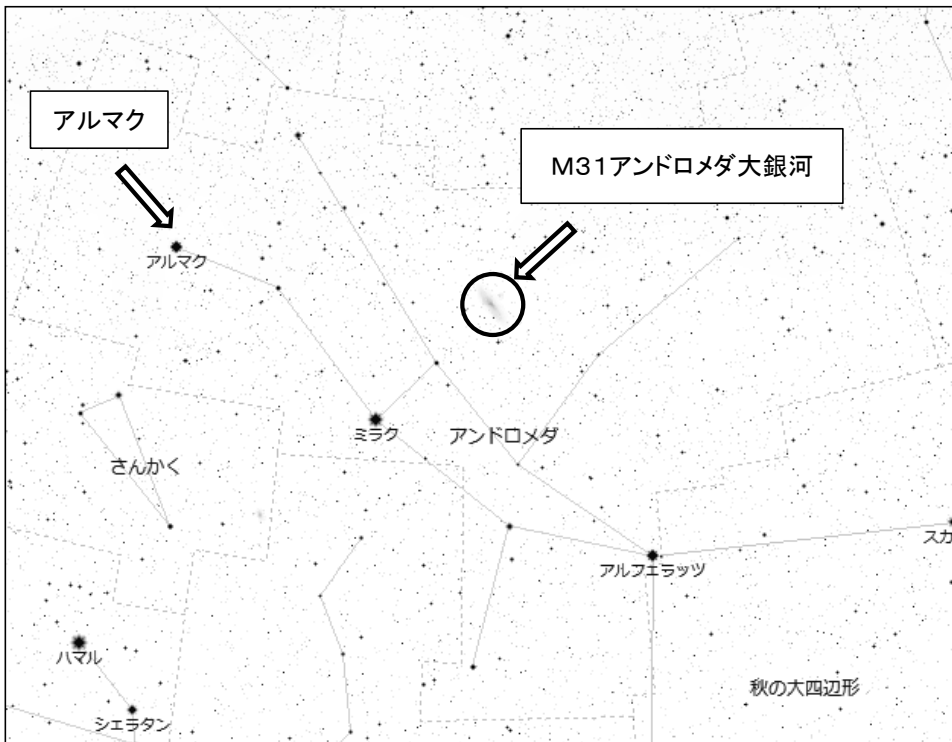
★今夜は月齢8.6

今夜の月は月齢8.6、ほぼ半月に見えます。

月は満月が一番よく見えると思いがちですが、天体望遠鏡で見るときはこのくらい欠けている方が、クレーターが作り出す影で立体的な月の姿を楽しむことができます。

※実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

アンドロメダ座



アンドロメダ座は秋を代表する星座です。その姿は怪物くじらの「いけにえ」として海岸の岩に縛られた美しい女性として描かれています。

アンドロメダ大銀河の存在がこの星座を一層有名にしています。



M31アンドロメダ大銀河

約230光年の彼方にある銀河で、約2兆億個の星の集まりです。空の暗い場所では、肉眼でもぼんやりした雲の様に見ることができます。(データの出典は「天文年鑑」、「アストローツ」より)

γ(ガンマ)星 アルマクは天体望遠鏡で拡大すると、2.5等と5.1等の二つの星に分かれて見えます。濃いオレンジ色と青色の対比が美しい二重星です。



次回の天文教室は

日時 11月21日(水) 19時から20時(受付18時30分から)

観察対象 月・ペルセウス座の二重散開星団hχ、カシオペア座の二重星ηなど
この次も来てくださいね(*~*)

